

SCHOOL DATA

〒274-0822 船橋市飯山満町1-954-4
 TEL.047-463-1412 FAX.047-463-1413
 ■児童数/635人 ■教職員数/31人 ■周辺環境/畑、住宅地 (平成20年5月1日現在)



ビオトープの概要

- 場所/学校敷地外
学校から徒歩1分
- 面積/約1,223㎡
- 設置者/学校ビオトープ「はさま子どもの村」実行委員会
- 設置した年/2008年3月
- 直近の改修年/2008年8月
- 主な管理者/学校ビオトープ「はさま子どもの村」実行委員会

<コンセプト>

飯山満の台地には、畑や雑木林、そして休耕田などの自然が残っているが、近年、この地域も都市化が進みつつある。残されているのは、学校周辺となってきた。

子どもたちは無類の昆虫好きである。また授業との関わりから尚一層興味関心を持っている。この好奇心から水辺の生物も含めた生きものへの関心に発展させたい。そのために池を二つ作った。また、地域の方々にもビオトープに関心を持っていただき、生き物と自然、自然と人間の共生を考えられる場となることを期待している。



生息している生物

植物: ススキ、オギ、ヨモギ、シロザ、ツルマメ、カナムグラ等
動物: カルガモ、ハシブトガラス、ツバメ、スズメ、ムクドリ、カナヘビ、メダカ、ドジョウ、タマシ、カナブン、シオカラトンボ、モンシロチョウ、アゲハ、カマキリ、バッタ、コオロギ、アメンボ等

今後生息させたい生物

ホテルを育て、飛ぶ姿を子どもたちに見せたい。植樹した木々がまだまだ小さいが、将来、木々に集まる多くの鳥類や昆虫類を期待している。



校舎とビオトープ



池の植物

ビオトープの活用方法

今年度は工期中ということもあり、活用計画も不十分でしたが、次のような考えを持っている。

1・2年生は生活科で、3年生から6年生までは理科や総合的な学習の時間で活用していく。地域の方々には、随時ビオトープを訪れて観察などをしていただく。

年に2回程度、実行委員会主催による観察会などを企画する。

ビオトープの効果

- 児童への効果
池や川に生息する動植物を観察することにより自然の仕組みなどを知ることができる。また、生き物に触れることにより命の大切さや生き物に対する優しい心が育まれる。
- 教職員への効果
身近にあるビオトープで生活科や理科、総合的な学習の時間に生きた教材として子どもと共に学習に活用できる。
- 保護者、地域住民への効果
大人が自然に対する興味関心を抱き、自然環境の保全に努めたり、親子で多様な生物の観察に訪れては生物に関心を持つようになる。

保護者、地域との連携

- 保護者**
遊歩道の除草の手伝いと年2回程度の観察会の手伝い。
- 自治会、町会**
学校ビオトープ「はさま子どもの村」新聞(仮称)の回覧などに協力。
- その他**
実行委員会と児童会の連携をしっかりと保ち、管理運営を協力して行う。

整備・活用・管理等の課題

まだまだビオトープづくりの途上であるので、実行委員会の方々による作業、工事が多い。今後の整備・活用・管理などについては、子どもたちにも役割分担をして、南小のビオトープとして整備も含めた意識付けが必要だ。

今後の展望

年度内には整備も終了するので、大きな作業は大人にお願いするにしても、多くの部分は子どもたちの手で整備・活用・管理などを企画・運営できるように育てていきたい。



整備中の小川と池

